

21世紀国際交流会発足 国際相互理解と交流の新たな地平求めて

新しい国際相互理解と交流の場として、新たなフォーラムのようなものをつくりたいということで、昨年からの準備が進めてまいりましたが、去る6月30日に、東京・本郷での設立総会がおこなわれ、「21世紀国際交流会」として正式に発足いたしました。

21世紀国際交流会は、20世紀の人類の歴史を踏まえ、21世紀の世界の新たな流れを展望しながら、専門分野の敷居、国と国との境を越えて、今世界史の転換点に立たされている私たちの仕事は一体何なのか、その展望はいかなるものなのか、についてともに考え、語り合い、模索しあってゆくことを目的としています。また、その目標のもとで、会員の皆様の専門知識や関心、発意にもとづいて運営される、いわば手づくりの組織です。海外の協力者（賛助会員）も含めてすでに百人を超える方々が入会くださっていますが、ここに、会の正式発足について会員のみなさまに改めてお知らせするとともに、さらに多くの方が入会くださるようよう、ご案内申し上げます。

【設立総会に60名参加】

6月30日（日）の設立総会は、東京・本郷の学士会館分館で約60の方が参加しておこなわれました。

総会では、準備委員会を代表して儀我壮一郎・大阪市立大学名誉教授が挨拶をおこない、会設立の準備の過程と会の趣旨について報告。準備委員の東海林照一氏が会則案を提案しました。これを受けて、参加者のみなさんによる活発な討論がおこなわれました。討論では、当面の活動計画についての提起を受けて、意見がかわされ、会則や、会の運営方法についての意見も出されました。

その上で総会は、儀我氏の報告と提案を承認し、会則や会の運営に関する意見については、今後、常任理事会、理事会で検討し具体化することを確認。さらに総会は、理事を選出し、つづいて理事会の互選によって常任理事、代表理事を選出して終了しました。代表理事は以下の六人の方々です（アイウエオ順）。常任理事、理事は別項。

稲沢潤子（作家）、木村英亮（横浜国立大学名誉教授）、熊沢喜久雄（東京大学名誉教授）、儀我総一郎（大阪市立大学名誉教授）、児嶋脩（元北里大学助教授）、田中萬雄（日本キューバ科学・技術交流委員会専務理事）

【古田元夫東大教授・前副学長が記念講演】

当日は総会に先立って、東京大学前副学長・同大学教授の古田元夫氏が、「今日の世界と国際交流」との表題で記念講演をおこないました。古田教授は「ベトナム研究者の視点から」としつつ、第二次世界大戦後の世界の特徴、そのなかでのベトナム戦争の歴史的意味、今日の世界の姿、国際主義の実相について触れながら、今日の世界における国際連帯のありかたについて語りました。講演は、21世紀国際交流会のこれからの活動にとっても参考になる重要な提起となりました。

【第一回常任理事会】

常任理事会は7月14日に、第一回会合を都内でおこないました。事務局長に羽根田新平

常任理事に務めていただくことを決め、ホームページの開設、広報活動の具体化などについて確認し、会則の最終的な修正も早急に具体化することを確認しました。さらに、8月5日の「朴漢龍/韓国民族問題研究所室長の講演・懇談会」の開催についても確認しました。

【8月5日（日）に、朴漢龍・韓国民族問題研究所室長を迎えて、講演・懇談会】

本会は、会の最初の行事として、現在韓国の近現代史の研究・調査などについて研究・調査をおこなっている韓国民族問題研究所の朴漢龍氏が八月上旬に、過去の日韓関係についての調査、史料収集のために来日されるのを機会に、21世紀国際交流会として、同氏をお招きして講演と懇談の集いを開きます。

◆日時 8月5日（日） 午後2時から5時まで

◆会場 北区赤羽会館 4階小ホール 所在地＝北区赤羽南 1-13-1

電話＝03-3901-8121

JR 赤羽駅東口下車徒歩5分、又は地下鉄南北線岩淵駅下車徒歩10分

◆内容 第一部朴漢龍氏の講演 第二部で朴さんを囲んでざっくばらんな意見交換をおこないたいと思っております。

◆会費 2000円

韓国民族問題研究所はソウルに事務所を置く、韓国の民間の研究調査機関です。朴漢龍氏は同研究所の幹部で、現在政府がおこなっている「親日・反民族行為者」についての調査に側面協力しているチームの責任者でもあります。この活動について日本のメディアの多くは、「親日分子摘発のキャンペーン」「盧武鉉大統領の政治的キャンペーン」などと報じていますが、朴氏は「正確に伝えられていない」とし、研究所としての活動自体も朴大統領のためにおこなっているのではないとしています。また、「韓国にとって、日本の植民地支配の時代の歴史の真実を正確に明らかにすること、さらに日韓基本条約も含めて、その後の韓国の歴史についても正確に描き直すことはきわめて重要です。それは21世紀に新しい韓国を築き上げるために避けて通れない課題となっているのです」と語っています。

朴氏はその活動を成功裏にすすめるために、日本の専門家、関係者の協力も得たいと語っていますが、その協力は、日本の歴史に対する私たち日本の国民が正しい理解をもつためにも、また日韓・朝関係の歴史についての正確な理解、両国間の共同研究の促進という点からもきわめて重要なことです。

当日の会合には、21世紀国際交流会の会員で、日韓・朝関係の歴史についての専門家である李進熙さん（和光大学名誉教授）、近代日本の歴史、日本軍国主義の戦争と支配について多くの著作を著しておられる吉岡吉典さん（元参議院議員）も出席されます。専門的な意見交換というだけでなく、そもそも「歴史を学ぶ、調査するとはどういうことなのか」といって原点的な問題も含めて、日韓市民の話し合いになればと思います。

日程がせまっています、ご多忙の中とは思いますが、会員の皆様、まだ会員でない皆様もこぞってご参加ください。

【その後の活動計画】

8月以降の予定としては、鉄砲洲診療所所長の沖山明彦医師（会員）による、現在の医療情勢、医療制度とくに高齢者医療の問題点についての講座の開催を予定しています。

さらにその後に関して、総会の際に下記のようなテーマでのフォーラムなどの開催について提起がありましたが、皆様のご意見、ご提案をお待ちしております。今後の常任理事会、理事会で検討し、具体化したいと思います。

「ベトナム戦争とイラク戦争、そして日本」「今日のエネルギー問題と地球環境問題—21世紀の緊急課題」「核戦争の危機と文明」「東アジアの平和と共同実現の展望は」「世界の貧困とグローバル化」などなど。

【ホームページの開設など】

会のホームページ（下記）を開設しました。今後内容を充実させてゆく計画です。会報も定期的に発行し、①会の活動や活動計画とともに、②会員の近況や声、活動や論文などの諸活動についても可能な形で紹介し、交流の場にしてゆければと思っております。これら広報活動についても、皆様の提案をお待ちしております。

【理事及び常任理事、監査】は以下のみなさんです（※が常任理事）。

相田利雄（法政大学教授）、石井孫三郎（中国問題）、石垣巳佐夫（カメラマン）、稲沢潤子（作家※）、井上英夫（全国老人福祉問題会長※）、今井覚（貿易経済交流経験者※）、江川友治（元国際稲研究所理事）、遠藤晴夫（写真家※）、大木了二（税理士）、大西勝明（専修大学商学部教授※）、大野章（元貿易会社）、沖山明彦（医師）、奥谷規子（日本語教育関係者）、加藤益雄（国際労働組合運動研究者※）、川瀬清（東京薬科大学名誉教授）、儀我壮一郎（大阪市立大学名誉教授・経営学※）、稀代統（スペイン語専門家）、木村英亮（横浜国立大学名誉教授・ソ連/国際関係論※）、木村文平（医師）、木村勝明（造形作家）、熊沢喜久雄（東大名誉教授、農学※）、栗田禎子（千葉大学教授・国際関係/中東※）、児嶋脩（元北里大助教授・薬学※）、小林好作（ネパール・トリブバン大学農畜産学部客員教授）、東海林照一（久保医療文化研究所事務局長※）、新船海三郎（文芸評論家※）、関口昌男（日本語教育専門家）、高草木博（平和活動家）、高橋敦子（鍼灸師※）、田中萬雄（日本キューバ科学・技術交流委員会専務理事・三進交易会会長※）、田辺光影（彫刻家）、寺澤薫（横浜市立大学大学院生・ベトナム問題※）、中村梧郎（フォトジャーナリスト・前岐阜大学教授※）、新妻東一（三進交易ハノイ駐在事務所長）、羽根田新平（三進交易社長※）、平井潤一（日中友好協会参与）、平田熙（東京農工大学名誉教授）、堀場英也（医師）、正木健夫（日本子どもを守る会・会長代行）、増田善信（元気象研究所研究室長）、三浦一夫（ジャーナリスト※）、水野清（日中友好協会員）、三矢英臣（元教師）、宮村攝三（東京大学名誉教授・地震学）、宮本和郎（日本画家）、村山光生（陶芸家）、本吉良吉（日本ベトナム交流活動※）、山口彦之（東京大学名誉教授・東京農大客員教授）、山崎耕宇（東京大学名誉教授・農学）、吉岡吉典（元参議院議員）、吉田康彦（大阪経済法科大学客員教授）、李進熙（和光大学名誉教授・歴史学※）、和田正名（ベトナム問題専門家）。

監査 大木了二。

【会事務局連絡先・ホームページアドレス】は以下の通りです。

- ・ 21世紀国際交流会事務局
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-3-3 いづみやビル 3階 ファクス 03-3510-7973
- ・ Email info@iea21-japan.org ・ ホームページアドレス <http://www.IEA21-japan.org/>

【会則及び入会申し込み】 別に添付（あるいは別紙）します。ただし、会則については今後若干の修正があるでしょう。

以上、よろしく申し上げます。